

# 竜巻から身を守る！

## § 竜巻とは？

発達した積乱雲に伴う強い上昇気流によって発生する、激しい渦巻で、短時間かつ局地的に大きな被害をもたらします。主に次のような特徴があります。

➤突発的に発生します。

➤猛烈な風が吹きます。

車が持ち上げられて吹き飛ばされるほどの渦巻状の強風（風速70m/秒以上）が吹くことがあります。（2012年茨城県）

➤短時間で狭い範囲に被害が集中します。

約18分間で、長さ17km、最大幅500mの被害をもたらす竜巻が発生しました。（2012年茨城県）

➤竜巻自体の移動スピードが速いと被害が大きくなります。

時速約90km（秒速約25m）で移動しました。（2006年宮崎県）



### 地域的な特徴

年間を通じて沿岸部で多く発生しますが、夏は内陸でも発生します。

### 主な発生原因

夏・冬——低気圧、寒冷前線、寒気の流入  
夏———停滞前線、雷雨、台風  
秋———台風、寒冷前線、低気圧

## § 竜巻の前兆は？

✓空が急に暗くなる。

✓大粒の雨、ひょうが降る。

✓雷鳴が聞こえたり、雷光が見える。

✓地上に伸びる雲が表れる。

この他、竜巻の目撃者からは次のような報告もあります。

- ジェット機のような轟音がする。
- 気圧の変化で耳に異常を感じる。

夜間は特に注意が必要

## § 竜巻から身を守るには？

建物への被害は防げませんが、身を守ることは可能です。

### 屋内にいるとき

- ✓地下室や、建物の最下階に移動する。
- ✓窓、雨戸、シャッターを閉め、カーテンを引く。
- ✓窓から離れる。または、窓のない部屋に移動する。
- ✓家の中心にある頑丈な机の下、または、押し入れの中に移動する。

### 屋外にいるとき

- ✓飛来物に注意する。
- ✓近くの強固な建物に避難する。
- ✓車庫、物置、プレハブまたは橋、陸橋の下へは逃げ込まない。
- ✓避難する建物が無い場合には、くぼみ等に身を隠し、頭と首を守る。

\*\*\*事前に準備できること\*\*\*

- ☛ 自宅や職場等の生活行動範囲の避難場所、方法を確認する。
- ☛ ガラスに飛散防止対策（フィルム）を施す。
- ☛ 竜巻注意情報等の情報の入手方法を確認する。

（竜巻注意情報（気象庁） <http://www.jma.go.jp/jp/tatsumaki/> ）

## § まめ知識・・・過去の竜巻の発生状況など

○2013年11月現在、1991年から2012年の間において、全国では、349件の竜巻等の突風の発生が確認されており、このうち長野県内では、2件確認されています。（気象庁ホームページ竜巻等の突風データベース都道府県別発生確認数より）

○日本では、風速70～92m/sクラスの竜巻が観測されています。（2012年茨城県ほか）

風速70～92m/sとは・・・壁が押し倒され住家が倒壊する。非住家はバラバラになって飛散し、鉄骨づくりでもつぶれる。自動車は転覆し、自動車はもち上げられて飛ばされる。森林の大木でも、大半折れるか倒れるかし、引き抜かれることもある。